



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 女性総合診療部 梶山 くるみ

【研究責任者】

聖路加国際病院 女性総合診療部 梶山 くるみ

卵巣子宮内膜症性嚢胞を合併し骨盤腹膜炎と診断された患者 さんを対象とした治療方法に関する研究

1.研究の対象

2003年7月22日から2022年11月16日までに当院で骨盤腹膜炎と診断され、卵巣子宮内膜症性嚢胞を合併し静脈注射による抗菌薬を投与された患者さん

2.研究の目的・方法

現在日本においては卵巣子宮内膜症性嚢胞を合併し骨盤腹膜炎をきたした症例について手術をするかどうか判断に悩むことが多いですが、今回手術を行った症例と行わなかった症例の臨床背景について調査することで手術を必要とする特徴を明らかにすることを目的としております。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人 研究機関の長による実施許可後～2026年10月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年11月12日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、年齢、BMI、カルテ番号、合併症、既往歴、前治療、血液検査結果